プロジェクト名	世界の国々、各国事情の紹介
タイプとレベル	「リーディングと語彙」 A2、 「ライティングと文法」 A2
期間	準備期間として毎回の授業の後半 30 分を 3 回+プレゼンテーション
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（後期に実施）
計画案 (課題、目的、学習対象、利用可能なツール、技術的な前提、進行プラン等)	<p>課題 : ドイツ語で世界各国の地誌情報をまとめたサイトを利用し、2~3 人のグループで 1 つの国を選び、自分たちの調べた情報を PowerPoint シート 5 枚程度にまとめ、10 分程度の発表を 3 週間後に行う。PowerPoint シートは原則としてドイツ語で作る。発表言語は日本語でもかまわないが、できる部分はドイツ語も使う。発表の際はゲーム・クイズを用いるなど、通常の形式以外の方法も工夫する。</p> <p>目的 : 1) 簡単なドイツ語のテキストを読んでその内容を理解する (A2 レベルの reading)、2) 理解した内容を簡単なキーワードを使ってドイツ語でまとめる (A2 レベルの writing)、3) 自分たちがドイツ語を使って理解した情報を、それをまだ知らない第三者に伝える体験をする、4) 通常の形式以外のプレゼンテーション方法を学ぶ、5) 地名、国名や Landschaft に関連する語彙の習得、Lokalpräpositionen とその使い方の確認、新出語彙の発音を自分の力で調べ、発音できるようにする。</p> <p>利用可能なツール :</p> <p>学生 : Kinderweltreise, Länder-Lexikon, reiselexiko.de Wikipedia, Glosbe・Reverso Dictionary などのオンライン辞書各種, ドイツ語読み上げサイト、PowerPoint など。</p> <p>教員 : 語学教員用教材共有サイト iSLCOLLECTIVE</p> <p>技術的な前提 CALL 教室等が使えれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台インターネットに接続でき、その画面を提示できれば良い。</p> <p>プロジェクト進行プラン</p> <p>① 準備 : 先行する授業の中で、夏休みにどこに行き、何をし、何を見、どう感じたか等をテーマとした学習活動を行い、iSLCOLLECTIVE からダウンロードした、たとえば、<i>Schreibstube - Meine letzten Ferien</i> (https://de.islcollective.com/deutsch-daf-arbeitsblatter/wortschatz/feiertage-und-urlaub/schreibstube-meine-letzten-ferien/93428) などのワークシートを使って上記のテーマで簡単な作文を書かせる (テーマと語彙についての導入)。また発音サイトの読み上げ機能についても、それを使う経</p>

	<p>験をさせておく。さらに、プロジェクト実施期間中も、適宜、教員は、テキストを読むのに共通して必要な語彙のリストやプレゼンテーション等に必要な文法項目等を扱ったペーパーなどを配ったり、並行する通常の授業時間（授業前半の60分）内にそれらを扱ったりする。</p> <p>① 第1回にやること：課題を説明し、3週間後に発表会を行うことも宣言し、グループを作らせる。</p> <p>② 教員は、Kinderweltreise 等を使って調べ方や PowerPoint への画像の貼り付け方等をデモし、実際にアクセスさせながら、学習者にどの国を選ぶか決めさせる。その際、なぜその国を選ぶかについても考えさせる。PC が使えない場合は、Kinderweltreise 等の URL をあらかじめ QR コードにし、携帯でアクセスさせてもいい。各グループが選んだ国名は板書して、できるだけ重ならないようにする。30分の時間以内に決められなければ、翌週までにグループ内で連絡を取って決めさせ、教員に連絡させる。また宿題として各自情報を見てくるよう指示する。</p> <p>② 第2回にやること：各グループで、テキストを読んで検討し、何を中心に調べるか話し合わせる。できれば概要紹介の1枚目の PowerPoint のシートは第2週のうちに作らせる。2枚目以降の PowerPoint シートに書く内容についても、何について掘り下げるか検討し、各自調べさせる。</p> <p>③ 第3回にやること：書くことを決めて、PowerPoint シートの後半部分を作らせる。また、Kinderweltreise の Länderrätsel や Reisespiel、あるいは Länder-Lexikon の Quiz 等を参考に、発表の際に行うクイズやゲームなどについても考えさせる。実際のプレゼンテーションの役割分担や練習は、授業外で各グループに準備させる。</p> <p>④ 発表会当日：発表会は他のクラスの学生にも公開するか、可能なら複数クラス合同で行う。参加者全員に1人2票与えて、最後に、良かったと思う発表をしたグループに投票させる（人気投票の実施）。学生には、評価アンケートも書いてもらう。</p>
ポイント	<p>1) 「〇人でグループを作り、今まで習った表現を利用して、〇〇週間後を目処に、PowerPoint のシートを〇枚程度使って、〇〇に関する発表を行おう。〇月〇日に、クラス外の人も呼んで発表会もしよう」等と、最初に、<u>課題と期限を明示</u>することが重要。</p> <p>2) 内容面では、見てくれる人が知らないことや、聞き手に突っ込んでもらえるような面白いものをつくることを課題とする。発表会をやってクラス外の友人を招くこともそうだが、プロジェクト型学習でいちばん大事なことは、<u>観客の存在を意識化させる</u>ことである。</p> <p>3) 毎年続けてやる場合は、最初に、前年度の作品をモデルとして提示してもいい。</p>

プロジェクトシート